

フラワー&ガーデンショウ横浜2022

FLOWER & GARDEN SHOW 2022

第6回ガーデニングコンテスト 結果発表

公益社団法人 日本家庭園芸普及協会（所在地：東京都中央区、会長：坂田宏）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止を余儀なくされておりました「日本フラワー&ガーデンショウ」を、横浜市が行う「ガーデンネックレス横浜」のイベントの1つとして名称を一新した『フラワー & ガーデンショウ横浜2022』を、去る2022年5月12日（木）～15日（日）までの4日間、横浜市市庁舎 展示スペースAにて開催しました。

本ショウは『ローズフェアwith趣味の園芸』との同時開催にて実施をし、会期中4日間で5,555人と多くの方にご来場をいただきました。

■ 来場者数 実績

日程	12日	13日(金)	14日(土)	15日(日)	4日間合計
来場者数	1,526	1,015	1,409	1,605	5,555
天候	曇りのち雨	雨	雨のち曇り	曇り	

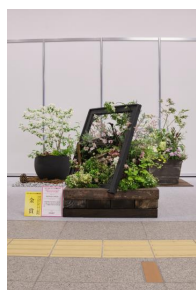
※前回（2021年）来場者数（3日間合計）は 4,499人
※ジャパンセレクションコーナーにお越しいただいた方を来場者数としてカウントしております

第6回ガーデニングコンテスト 結果発表！

本ショウでは、通算6年目の開催となります、「第6回 ガーデニングコンテスト」を実施しました。本年はコンテナガーデン部門にカテゴリーを限定し作品を募集したところ、多くの力作が集まり、ショウ開催期間中、作品が展示された会場は、常に多くの来場者で賑わうコーナーとなりました。

本ショウにおける「ガーデニングコンテスト」の実施は、出品者にとって、日頃から培ってきたデザイン力、植え付けの技術、提案性などを活かした作品を、多数の来場者や関係者に披露できるまたとないチャンスになります。また、来場者の多数を占める首都圏在住の一般園芸愛好家にとっては、一流の技術によって作られた作品の数々を間近で見ることができるだけでなく、限られた居住空間でもできる園芸の楽しみ方の実例として、最高の手本を觀賞できるという点で、非常に意義のあるイベントと考えております。

会場内展示コーナーにて、募集いただきました19点の作品展示を行い、会期前日の5月12日（木）、別紙1に記載の審査員による厳正なる審査を行い、金賞、銀賞、銅賞を選定しました。



コンテナガーデン部門
金賞作品



コンテナガーデン部門
銀賞作品



コンテナガーデン部門
銅賞作品

表彰式について

表彰式は、ショー最終日の5月15日（日）に行われ、受賞者に対して、主催者である公益社団法人日本家庭園芸普及協会 副会長 梅田 公利より表彰状が授与されました。



受賞者の記念撮影

審査員について

5月12日（木）に下記の3名の審査員によって、審査が行われました。

部門名	審査員	プロフィール
コンテナガーデン 部門	深町 貴子	(有) タカグリーンフィールズ専務取締役 グリーンアドバイザー認定審査会委員
	河合 伸志	横浜イングリッシュガーデンスーパーバイザー
	渡辺 優	(公社) 日本家庭園芸普及協会 ショウ実行委員長

* 敬称略

協賛企業について

本コンテストでは以下の企業よりご協賛いただいております。

※協賛金の一部は本コンテストの運営に活用をさせていただきました。

アップルウェア(株)、(株)オーシマ小野商事、カネコ種苗(株)、キンボシ(株)、京成バラ園芸(株)、
(株)サカタのタネ、サカタのタネグリーンサービス(株)、住友化学園芸(株)、タキイ種苗(株)、
(株)ニチリウ永瀬、(株)ハイポネックスジャパン、フマキラー(株)、村田永楽園(株)、
メネデル(株)、大和プラスチック(株)、横浜植木(株)、レインボー薬品(株)、渡辺泰(株)

第6回ガーデニングコンテスト 結果発表

(受賞作品画像、受賞者名、作品タイトル、アピールポイントについて)

コンテナガーデン部門

金賞



川島 由希子

「NOSTALGIC GARDEN」

古き良き時代のあの頃を引っ張り出して楽しんでしまうという
3Dのイメージで額縁から飛び出す世界を表現。

銀賞



福田 敏恵

「ヒカリと風とみどりの中で…」
アトリウムらしい優しいヒカリ、横浜の海風、
初夏の瑞々しい新緑の若葉。心和む時間をお楽しみください。

銅賞



阿須間 浩子

「緑道の朝」
通勤や散歩で行きかう緑道の清々しさを
表現しました。

《この件に関するお問い合わせ先》

フラワー & ガーデンショー横浜2022事務局

TEL/03-3233-8382 FAX/03-6722-2707